

令和元年度（一社）栃木県老人福祉施設協議会事業計画

1 基本方針 縣

社会福祉制度改革以降、経済財政運営と改革の基本方針 2018（少子高齢化の克服による持続的な成長経路の実現）における①人づくり革命の実現と拡大、②生産性革命の実現と拡大、③働き方改革の推進、④新たな外国人材の受入などが示されました。

このような変革の時代に様々な介護施策が構築され、生産性向上など高いサービスの質と量の展開が期待されています。私たち福祉・介護事業者は目指すべき社会の実現に向けて明確な経営戦略を立て、セーフティネットとしての役割を自覚し、地域に必要な福祉・介護の核として充実・発展をさせなくてはなりません。

これらを基に今年度事業は、昨年の介護保険・介護報酬改定を受けて次期改定の対策（特に改定後の状況、今年 10 月に予定される処遇改善加算）及び人材確保対策を中心とした課題へ迅速に対応し、一層の研鑽を深め種々の事業に取り組むものいたします。

2 重点課題

- (1) 介護人材の確保と定着、育成、とちぎ介護人材育成認証制度の普及
- (2) 福祉、介護サービスの質向上
- (3) 働き方改革や生産性向上に向けた介護ロボット、ICT等の活用
- (4) 外国人労働者の受入体制強化
- (5) 処遇改善加算取得対応研修
- (6) 関係機関、地域社会等との連携・協働の強化
- (7) 広報活動と地域の公益的取り組みの一体化した展開（情報収集・共有・分析・発信）
- (8) 会員施設の地域への認知向上
- (9) 地域包括ケアに向けた取り組みの促進
- (10) 一般社団法人栃木県老人福祉施設協議会組織の基盤強化

3 具体的な活動

- (1) 理事会を適宜開催するとともに各部会、各種委員会からの事業計画に基づき、計画的に活動を展開する。
 - ・総会 1回
 - ・理事会 6回程度
 - ・監事会 1回
 - ・正副会長会 随時
 - ・施設長会議 随時
 - ・部会・委員会 別紙各部会・委員会提出の事業計画による

諸会議等への参加

- ・ 栃木県、宇都宮市への社会福祉に関する要望提出（8月）
- ・ 栃木県介護人材確保対策連絡調整会議への参加
- ・ 栃木県認知症対策推進会議への参加
- ・ 栃木県高齢者支援計画策定部会への参加
- ・ 宇都宮市地域包括ケア推進会議への参加
- ・ 第74回 全国老人福祉施設大会（茨城大会／11月20日～21日）
- ・ 全国老人福祉施設研究会議（愛媛会議／10月29日～30日）
- ・ 関東ブロック代表者会議
- ・ 全国老人福祉施設協議会関東ブロックカンントリーミーティング in 千葉（未定）
- ・ 第55回 関東ブロック老人福祉施設研究総会（静岡県／9月26日～27日）
- ・ その他

(2) 研修会の実施

- ・ 経営戦略セミナー
- ・ 人材確保、定着、育成研修
- ・ 看取り、緩和ケア研修
- ・ ICT、IoT 活用研修
- ・ 外国人労働者受入体制強化研修
- ・ 地域包括ケアシステム
- ・ 人事、労務管理、働き方改革研修
- ・ コンプライアンス、リスクマネジメント研修
- ・ トップ、ミドルリーダー研修
- ・ 新人職員研修
- ・ 安全運転講習会
- ・ 栃木県看護協会との共催研修
- ・ その他、各部会との連携による研修会

(3) 施設職員福利厚生事業

- ・ 従事者表彰の実施
- ・ 施設職員交流バレーボール大会の開催（宇都宮市河内体育館／9月22日）
- ・ 茨城県・栃木県老施協職員交流バレーボール大会（茨城県主催／12月1日）
- ・ その他

(4) 広報啓発事業

- ・ 第11回「介護の日」フェスティバル in けんちょうの開催（11月9日予定）
（県民への福祉業界の魅力発信および周知活動）
- ・ ホームページの充実・強化（研修申込み対応、当協会の見える化）
- ・ その他

(5) 栃木県補助事業

- ・ 介護人材参入促進事業（高校教員を対象とした職場見学・セミナー）
- ・ 介護人材キャリアパス支援事業（小規模事業所資質向上研修）